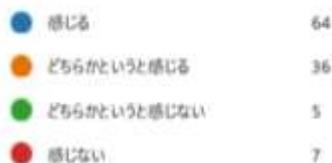
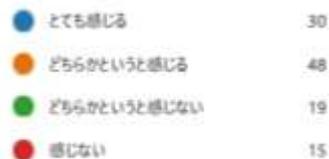


京丹後市中学校部活動に関するアンケート結果(中学校教員):112人回答

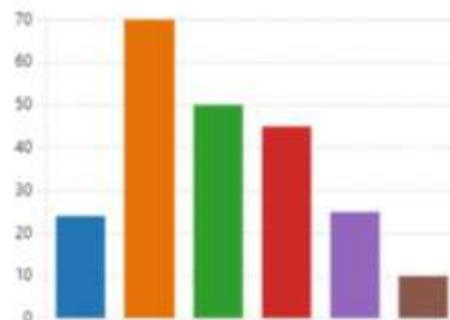
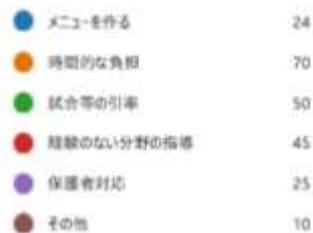
1 部活動に教育的意義を感じるか



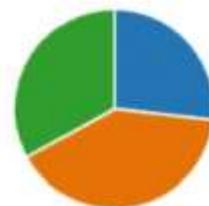
2 部活動に負担を感じるか



3 「とても感じる」「どちらかといえば感じる」の理由(複数回答可)



4 全員部活動加入に対する意見と理由



(1) 部活動を通じた成長と経験

- 部活動に参加することで、仲間との協力や努力の大切さを学ぶ機会が提供される。
- 先輩後輩の関係を通じて、人間関係やリーダーシップの経験が得られる。

(2) 生活リズムの構築と生徒の成長

- 部活動がない場合、生徒の放課後の過ごし方が問題となる可能性があり、部活動によって生活リズムが形成される。

(3) 教育的な意義と非認知能力の育成

- 部活動を通じて、学校の授業では得られない非認知能力(精神力、根気など)が育まれる。
- 中学生の成長段階において、部活動が重要な役割を果たす。

5 休日の部活動を地域が担うこと(理由と傾向)



(1) 賛成意見

- ① 教員の負担軽減になる
- ② 地域の専門知識を活用できる
- ③ 生徒のスキル向上につながる
- ④ 地域との連携が深まる
- ⑤ 教育的な意義がある
- ⑥ 生徒の自主性を尊重できる
- ⑦ 学校外の社会経験が豊富になる

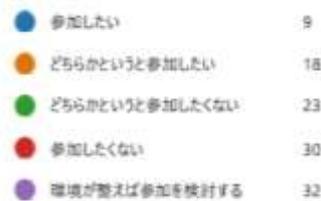
(2) 反対意見

- ① 学校活動としての統一性が失われる恐れがある
- ② 教員と地域の指導者の連携が課題となる
- ③ 生徒の混乱や支援の偏りが生じる可能性がある
- ④ 地域の資源や人材の不足が懸念される

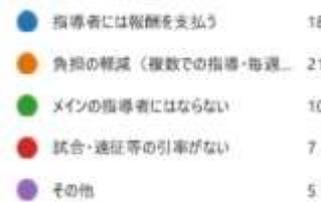
(3) わからない等

- ① 実現可能性や具体的な運営方法が不透明
- ② 教員と地域の役割分担が模索されていない
- ③ 生徒や保護者の理解や支援のあり方が不明確

6 休日の部活動が地域移行した場合、地域の指導者として参加したいか



7 「環境が整えば参加を検討する」その条件



8 京丹後市で部活動を地域に移行する場合、どのような形が良い(持続可能)と考えるか

(1) 段階的な移行と実証事業

- 随時、できる範囲から移行し、地域と保護者に実際のイメージを示すことが重要。
- 実証事業を通じて、適切な形態を見極めることが提案されている。

(2) 合同チームや拠点校の活用

- 部活動の人数不足や多様な活動要求に対応するため、合同チームや拠点校の制度が有効とされている。

(3) 指導者の負担軽減と研修体制の整備

- 指導者の負担を分散し、休日活動の指導体制を改善することが重要。
- 適切な支援や研修を提供し、持続可能な指導者の体制を整えることが求められている。

(4) 地域全体のサポート体制

- 地域全体でのバックアップ体制の構築が不可欠。
- 活動を自己中心的に進めず、周囲の理解と協力を得るための雰囲気作りが求められている。

(5) 資源の確保と効率化

- 指導者の報酬や施設の整備、活動の効率化が重要視されている。